

令和7年5月7日

敦賀市立看護大学後援会
会員各位

敦賀市立看護大学後援会
会長 梶川 和則

令和7年度敦賀市立看護大学後援会
通常総会書面決議の結果について

葉桜の候 皆さまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、本会の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、みだしの通常総会について、下記のとおり可決されましたので、報告させていただきます。
今後とも、皆さまのご意見をいただきながら、学生の活動支援に取り組んでまいり所存で
おりますので、本会にご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

記

1. 決議書回収数

総数226に対し、回収数76でした。

2. 各議案の賛否確認結果

第1号議案	令和6年度事業報告及び決算報告について	承認76/非承認0により可決
第2号議案	令和7年度事業計画及び予算案について	承認76/非承認0により可決
第3号議案	臨地実習交通費助成金支給要領の改正について	承認75/非承認1により可決
第4号議案	後援会会則の改正について	承認76/非承認0により可決

*後援会会則第12条および第13条に基づき、出席者(回答者)の過半数が承認であった
ことにより、可決されました。

【後援会事務局】
敦賀市立看護大学
教務学生課 橋本
Tel 0770-20-5540

議案に対する質問・意見等

少数ではありますが、ご質問・ご意見がありましたので、下記のとおり報告及び回答とさせていただきます。

<ご意見>

- ・いつもお世話になっております。

先日、娘より金ヶ崎宮の桜の画像が送られてきました。県外の初一人暮らしで、最初こそホームシックがあったようですが、ご学友の皆さんと地域の皆さまに見守られ、いよいよ最終学年になりました。敦賀の地は近年の大河ドラマでも重要な土地で、しかも命のビザでたくさんの尊い命が繋がった土地でもあり、そんな地で4年間生活を送れた娘はとても幸せ者だと思っております。

これからもよろしく願いいたします。

- ・臨地実習交通費助成金で4年生が外れる理由がわからなかった。
詳しい説明があると良かった。

<回答>

ご意見ありがとうございます。

大学に入学されて、あっという間の3年間だったと思います。大学でのたくさんの経験を糧に、学生の皆様の成長を感じる今日この頃です。

敦賀港は、1920年代にポーランド孤児、1940年代に「命のビザ」を携えたユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港であり、敦賀のまちの人たちが温かく迎え入れた歴史があります。そのような歴史のある人道のまちで育まれた看護の力と人間力を、今後の人生に活かしていただければ幸いです。

臨地実習交通費助成金につきましては、令和5年度に実施しました学生アンケートの結果と複数の会員の皆様のお声を受けて、令和6年度に新設いたしました。当初より、対象は3年生としておりましたが、令和2年度から令和4年度まで大学が実施していた当該助成を受けたことのない4年生に対しましても、令和6年度に限り対象を広げ、すべての学生が安心して臨地実習に集中できるよう支援を行いました。

令和7年度におきましては、4年生への支援としまして、国家試験対策に力を入れ、今年度から国家試験対策の準備にかかる費用の助成を行う「看護師国家試験対策支援金」の給付を新たに設けました。

限られた予算の中で、各学年が抱える負担等に対して、それぞれが均等に支援されるよう予算を編成しております。

このたび、会員の皆様のご理解とご支持を受け、すべての議案についてご承認をいただきました。学生の皆様のますますのご活躍とご発展をお祈りするとともに、後援会として最大限の支援ができるよう尽力させていただきますので、引き続き、会員の皆様のご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。